

水のピシウム属菌検査

〈対象作物〉

野菜類・花き類

ピシウム属菌

- 病原 *Pythium spp.* (糸状菌)
感染 水媒伝染、土壌伝染
症状 根が褐変し、株全体が萎れる。



このような場合におすすめです！

- ・原水、排水等にピシウム属菌がいるか調べたい
- ・殺菌処理を行った水に、ピシウム属菌が含まれるか調べたい

検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

<A：圃場養液中にエゴマトラップを設置する場合> **おすすめ!**

- ・弊社からトラップを送付します。
- ・3日間圃場内の養液等に浸漬後、ポリ袋等に入れて密封し、直射日光や高温を避けてご送付ください。
- ・トラップの設置個所が複数ある場合は、それぞれ別のポリ袋に入れて下さい。
- ・輸送中の温度の影響を受ける可能性があるため、夏季高温期及び低温期はBとの併用をおすすめします。

<B：水を送付する場合>

- ・必要な液量は、2Lです。水量が取れない場合はご相談ください。
- ・ミネラルウォーターの空ボトルに、検査対象の液で一度すすいでから入れてください。
- ・採水場所(例：地下水、養液タンク、排水、ハウス番号等)をご記入ください。
- ・液漏れ防止のため蓋はしっかり閉め、ポリ袋等に入れて密封してください。採水後は、直射日光や高温を避け、段ボールに入れてご送付ください。



検査の方法

【ベイト法による検出】

エゴマトラップを用いてピシウム属菌を捕獲し、菌が存在するかを調べます。

注意事項

菌の密度や病原性の有無までは判定できません。

報告書

- ・水中におけるピシウム属菌の有無を検査します。
- ・検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

